図書館情報技術論

科目ナンバリング　LIH-102
図書　　選択　　2単位

酒井　由紀子

1. 授業の概要（ねらい）

図書館サービスに必要な情報技術の基本と具体的な応用について学ぶ

2. 授業の到達目標

・コンピュータ、ネットワーク、デジタル表現の基本的なしくみを理解する
・図書館システムおよび図書館サービスで利用されている各種の情報技術とその応用について説明できる
・図書館で応用されているシステムや情報技術について図書館サービスの視点から評価を行い、開発者や保守担当者に要望や提案を具体的に伝えることができる

3. 成績評価の方法および基準

1分ペーパーを含む授業参加（10%）；レポート（30%）；試験（60%）
*ただし、欠席4回以内、レポートの期限内提出を試験の受験条件とします
*また、試験における合格点を単位取得条件とします

4. 教科書・参考文献

参考文献
杉本重雄編.　図書館情報技術論.　樹村房, 2014, （現代図書館情報学シリーズ, 3）, ISBN 978-4-883672035.

5. 準備学修の内容

・事前学習として指示された文献を読んだり、調査をしたり、自身の情報技術体験を思いだしたりして授業に臨む
・授業後に授業中のメモをもとに「自分の」ノートを作成しておく
・調査・レポートガイドにしたがって、特定の図書館情報技術についてのレポートをまとめる

6. その他履修上の注意事項

・「図書館概論」単位取得済みを推奨
・第1回は授業の進め方、成績評価の方法などの重要な説明があるので必ず受講すること
・ほぼ毎回、「学んだこと、考えたこと、残された疑問」を書く1分ペーパーを課します
・また、演習課題も課します

7. 授業内容

【第1回】　【オンライン】オリエンテーション
【第2回】　情報技術と図書館
　　コンピュータのしくみ
【第3回】　デジタル表現
【第4回】　コンピュータネットワークとウェブ
【第5回】　電子出版
【第6回】　図書館システム（1）歴史・業務としくみ
【第7回】　図書館システム（2）新しい要求
【第8回】　【オンライン】特定の図書館情報技術の動向調査（調査・レポートガイド）
【第9回】　メタデータ
【第10回】　周辺機器と設備
【第11回】　デジタルアーカイブ
【第12回】　インターネットによる広報
【第13回】　図書館における情報システムの安全性と信頼性
【第14回】　ネットワーク社会における図書館サービス
【第15回】　授業内試験